

富士見町

議会だより

2011/2/1

No. 116

12月定例会報告……………2
特集 落合小6年生『議会傍聴記』
……………4
そこんどこ どうなっている！
(12月定例会 一般質問) ……6
所管事務調査報告……………11
議会の窓……………12



おばあちゃんの
“ステキな笑顔” がうれしくて！

「第4次富士見町総合計画・基本構想」変更案 全会一致で修正可決！



12月定例会

12月定例会は、3日から14日の12日間の日程で開催されました。

今定例会では、富士見町土地開発基金条例の一部を改正する条例、平成22年度一般会計補正予算等13議案を審議し、第4次富士見町総合計画・基本構想の変更については修正可決、その他12議案については、原案どおり可決しました。

主な内容と審議の結果

〈条例〉

○富士見町土地開発基金条例の一部を改正する条例

土地開発基金は、公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地を、あらかじめ取得することを目的に設置されています。平成11年3月以降基金の活用がなく、また今後基金を活用して土地を取得する予定もないことから、基金の額を減額する条例改正を行うものです。（基金の額を6,250万円に減額。減額分は一般会計へ繰入れ、渡辺別荘跡地取得に活用。）

〈全員一致で可決〉

〈事件案件〉

○諏訪南行政事務組合規約の一部を変更する規約

諏訪南行政事務組合議会の議員定数は、諏訪市5人・茅野市5人・富士見町3人・原村

2人の計15人となっています。諏訪市議会の議員定数が減少したこと等により、諏訪市からの選出議員を3人に削減したい旨の申し出があり、議会の議決を求めるものです。

〈賛成多数で可決〉

○指定管理者の指定について「地域活動支援センター」

富士見町地域活動支援センター（あかたんぼ）の指定管理者を、来年度から5年間社会福祉法人富士見町社会福祉協議会とするものです。民営化については、経営がきびしく難しい状況だが、検討していくとのこと。

〈全員一致で可決〉

〈予算〉

○平成22年度一般会計補正予算（第5号）

渡辺別荘跡地取得事業2億818万円増額、国民健康保険特別会計への繰出し309万円増額、子宮頸がん予防ワクチン等接種費用助成889万円増額、中山間地域等直接支払い事業864万円増額、観光協働事業等（特産品販路拡大・観光PRプログラム作成）207万円増額等が主な内容で、予算総額は73億9,204万4千円となります。

〈賛成多数で可決〉

○平成22年度国民健康保険特別会計補正予算（第0号）

保険証更新委託料69万円増額、出産育児一時金378万円増額等が主な内容で、予算総額は、12億9,343万5千円となります。

〈全員一致で可決〉

第4次富士見町総合計画・基本構想の変更 — 全議員による特別委員会での審査 —

社会情勢（国の政策・前期計画では想定できなかった人口の減・経済状況・高齢化等）が変化したこと、農地荒廃・観光面での集客に対する第3のシナリオ作成・八ヶ岳観光圏の構築・病児保育・消防広域化等の改革要素が出てきたことから、平成23年度からの後期計画を変更するものです。

この提案を受け、特別委員会では総合計画の理念、構想の枠組みから変更後の文面までを審査しました。

委員会では出された主な意見は次のとおりです。

* 前期計画実施後の総括を提示してほしい。

* 「情報を積極的に公開する」「集落との協働」「循環型社会の構築」「温暖化防止」を入れるべき。

* 子育て・教育関係については、適切な言葉を使い、「確かな学力」という子ども物の将来に配慮した内容を加えた方がよい。

* 全体を通して、文章は簡潔明瞭かつ積極的な表現にするべき。

検討の結果、6箇所を修正することとした修正案を全会一致で可決しました。



〈主な議案の採決結果〉

○賛成 ●反対 △棄権

議案	議員名									
	小林光	エンジエ子千代	中山孝	織田昭雄	名取武一	小林市子	五味滋	三井幹人	小池一夫	平出英夫
富士見町土地開発基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諏訪南行政事務組合理約の一部を変更する規約	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について「地域活動支援センター」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度富士見町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○

— 請願・陳情 審査結果 —

- TPP交渉参加反対に関する請願
(賛成多数で趣旨採択)
- ILO看護条約・夜業条約に基づき、医療・介護労働者の大幅増員と夜勤改善を求める陳情
(全員一致で継続審査)
- 後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書提出を求める陳情
(賛成少数で不採択)
- 30人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情
(賛成多数で採択)
- 長野県独自の「30人規模学級」の中学校への拡大を求める意見書提出に関する陳情
(賛成多数で採択)
- 私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情
(賛成多数で採択)

◇ 11月臨時会報告

11月26日に開催された臨時議会では、一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例等6議案を審議しました。主な内容と審議結果は次のとおりです。

○ 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告に従い、一般職の職員の給与を引き下げる
ものです。
〈賛成多数で可決〉

○ 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
一般職の職員の給与を引き下げるに準じて、特別職の給与を引き下げるものです。
〈全員一致で可決〉

○ 財産の取得について
富士見町開発公社（パノラマスキー場）で使用するマイクロバスを801万円で購入するものです。
〈賛成多数で可決〉

○ 人権擁護委員に金澤みささん（富士見台）を推薦することにつき、全員一致で適任と決しました。

落合小6年生

議会傍聴に行ってきた！

落合小学校の6年生8名が12月定例会一般質問を傍聴、その感想をお寄せいただきました。

…私たち議員もドキドキです。

ぼくたちは、事務局長さんをお呼びして、議会のお話をしていたとき、議会を見に行くことになりました。

議会に行くまで、どんなふうなのかな、国会とどうちがうのかなと思いましたが、話し合いをするまで、議会は難しいのかなと思いましたが、議長さんにわかりやすく説明していただき、議会はこうなんだとよくわかりました。

議会が始まってからは、議員さん全員が真剣でした。質問をする議員さんは、自分の意見をわかってもらいたい、画用紙などを使って主張していました。

そして、町長さんも議員さんも町をよくするためにがんばっている、ありがたいと思いました。

〈有賀光希〉

ぼくたちは、修学旅行で国会の勉強をしていて、町議会の事務局長さんが学校まで来て話をしてくれました。そこで、「議会見学をしに来てもいいですよ」と紹介してくれたので、ぼくたちは、行くことにしました。

役場で議場に入る前、初めて見る議会で、緊張と楽しみでいっぱいでした。中へ入って議場のいすに座って待っていると、とても静かで、学校とは違いました。会議が始まりました。さっきまで少し話し声が聞こえた議場が、議長さんの一言でとても静かになりました。議員のみなさんは、質問している名取さんの話を集中して聞いていました。会議では、地デジのことやパノラマのことなどを話し合っていました。議員のみなさんが、ぼくたちが住んでいる町のことを真剣に話し合ってくれていて、「ありがたいな。」と思いました。

役場を出て外で待っている時、「まだ、議員のみなさんは、がんばって話し合っているのだな。」と感心しました。これからも議員のみなさんには、がんばってほしいです。

〈五味 仁〉

私たちは、事務局長さんに学校で話しをしてもらい、質問の末、議会見学することになりました。

バスの中、議場に入る前までは、初めての町議会見学で少しドキドキしました。中のいすに座っていると、議員さんがどんどん入って来ました。その中には私たちのことを知っている人もいました。嬉しかったです。

話し合いが始まってから、ゴミ問題や地デジ化、パノラマなどのことを話し合っていました。議場を出る時、これからの勉強になるからもう少し話を聞いていたかったです。

〈五味めぐみ〉

ぼくたちは、修学旅行に行くため、社会の勉強の出前講座で町議会のことを聞いたので、議会見学に行くことになりました。

ぼくは行くバスの中で「議会の中はどうしているのかなあ。」と思いました。それから、役場の四階にある議場に入りました。でも、議会は始まっていませんでしたが、もうどんどん、議員の人が入ってきました。そして議長さんが、議会のことや議場のことを教えてくださいました。

そして議会が始まりました。名取さんのお話の地デジ問題はとても興味深く、分かりやすかったです。議員さんたちはみんな真剣で、ぼくは「議員さんたちは、みんながんばっているなあ。」と思いました。

ぼくは帰りのバスの中で「もう少し議会を見たかったなあ。」と思いました。でも初めて議会を見て、とてもいい勉強になりました。

〈五味裕也〉



植松議会事務局長と「議会のしくみ」を勉強



落合小学校6年生の皆さん

町議会の学習で事務局長さんに来てもらって、町議会に行きたいと言ったら「いいよ。」と言ってくれたので、役場の議会を見学に行きました。バスで役場に行くと、着くと議場はどういう広さなのかとか、どんな話題なのかを考えました。議場前でスリッパにはきかえ、名前を記入しました。どうなのかとききました。

中に入ってみると思ったより広く、質問する場所や答える場所や議員さんの席がありました。議会が始まりました。議員さんたちの席にそれぞれ数字の番号が書いてありました。質問するときに、前に出て質問しました。話題は関税や地デジやゴミ問題やパノラマのことを話していました。難しくはなかったけど、勉強したところもあつたので分かりました。それに答える町長さんは、「反対側の場所に立って、ぼくたちに分かりやすく言ってくれました。」

一時間一五分だったけど、とても勉強になりました。議会のことを知ることができてよかったです。

〈五味凌介〉

私たちは、町議会の方の出前講座で、税金や選挙のことを学習しました。そして今度は、実際に町議会を見学することになりました。あまり行く機会が無いので、しっかり聞いて学習しようと思いました。議場に入って少し待っていると、議会が始まりました。議場が少し静かになって質問が出ました。PPPについての話でしたが、図や表を出しながら説明していて、何が問題でどうしたいのか私にも分かったので、議論をより集中して聞くことができました。その中でもとても真剣に富士見町のことについて話し合っていたので、それは感謝しなければいけないあとと思いました。できれば、もっと長く聞いて学習したかったです。

〈中山東優〉

ぼくたちが町議会に行くことになったきっかけは、社会の勉強で国会のことを学んでから、出前講座で事務局長の植松さんに「ぜひ来て下さい」と言われ、行くことになりました。

マイクロバスに乗り役場に着いたら、四階に上がりました。ロッカーでスリッパに替え、議場に向かったら議員の人が「落合の子だね、おはよう。」と言ってくれたので「おはようございます。」と言いました。「みなさん真剣だなあ、どんな感じの議会になるのだろう。」と緊張しました。

傍聴席に座ると、議長さんが「国会みたいに、この議会は文句を飛び交わさず、紳士的に進めますよ。」と言っていました。

議会が始まり、名取武一さんのPPP（環太平洋戦略的協定）の話が分かりやすかったです。議員のみなさんは、農家の全減をくい止め、ぼくたちの生活のためにがんばってくれているんだなあと思いました。一生懸命がんばってくれている議員のみなさんには、感謝したいなあと思いました。

〈須藤 聖〉

町議会に来るきっかけは、社会の時間で国会を勉強したので、次は町の議会ということになりました。どんなことを話し合うのか楽しみでした。

役場に行き、スリッパをはきかえ、名前を書くまではドキドキしました。議場へ入ると、町長さんや議長さんがいました。議長さんは、ぼくたちのために議会について説明してくれました。

議会が始まりました。最初は名取さんがPPPなどを話していました。少し難しかったです。去年関税について習ったので、今の関税も苦労しているなあと思いました。エンジェルさんのパノラマの赤字のことでは、パノラマもがんばっているなあと思いました。

議場を出ると、こんな思いを持ちました。「議員さんも町長さんも町のために一生懸命だなあ。」そう思いながら役場を後にしました。

〈森山泰嗣〉

落合小学校6年生の皆さん、議会傍聴ありがとうございました。将来町を背負って立つ皆さんに、明るく豊かな富士見町を残せるよう、議員一同精一杯がんばっていきます。



織田 昭雄 議員

質問：町が配布する印刷物を減らすことで、経費削減ができないか。

町長：現在52種類、200万枚の紙が配布されています。国等からの配布物も若干含まれていますが、最低でも半減したいと考えています。

法的・義務的に配布しなければならぬものは継続し、ニュース・イベント関係については、ホームページや告知放送での情報提供を検討したいと思います。

質問：他の告知方法を検討する考えは。

町長：近隣市町村が利用しているLCV行政チャネルを活用したい。コスト面から文字放送主体の運用とし、導入に2,000万円、維持費として年間100万円かかりますが、予算計上を検討します。

質問：町内でLCVケーブルが敷設できない地域があるが。

町長：ペーパーレス化を契機に改善しなければいけないと考えています。

□その他の質問

* 新年度の補助金などの削減について



南原山交差点隣接の渡辺別荘跡地

渡辺別荘跡地取得の
予算措置は
「土地開発基金」を活用します



小林 光 議員

質問：渡辺別荘跡地は町の中心部に近く、自然のままを保っている貴重なところ。取得の見込みは。

町長：3月末までに正式に契約できる見込みです。

質問：取得金額と予算措置は。

町長：「土地開発基金」が2億6,000万円あり、これを活用したい。取得価格は2億6,000万円をかなり下回る見込みです。

質問：用途に関し、国とどのように約束したのか。

町長：公園にすると国には伝えていません。現在検討委員会で検討していただいています。検討結果を含めて案を作り、5月中に住民懇談会で説明をして、賛同を得たいと考えています。

質問：一部を住宅用地として使用したらどうかという話が出ているが。

町長：住民懇談会で町民の方から出された案です。今はそういうことを検討する時期ではないと説明したつもりです。

□その他の質問

* 陸事業への長期的継続・保守計画の盛り込みについて
* 企業誘致について

小・中学校のいじめ問題への対応は

早期発見に努め、事実を隠蔽せず、
学校全体で対応していきます



三井 幹人 議員

質問：全国的にいじめ問題の報道があるが、町内の状況は。

教育長：町内に大きないじめ問題はありませんが、仲間はずれや無視、靴を隠すなどの事例がまま見られます。中学校では、グループ内でのいさかいからいじめが起る傾向があります。多様な人間関係を築くコミュニケーション能力の弱さが原因ではないかと考えます。

応ずる。②声掛けや相談を絶えず行う。③家庭との連絡を密にする。④職員誰にでも相談できる体制をとる。⑤道徳や人権感覚を磨く教育の充実。⑥子どもと保護者に級友調査を行い、指導の参考に。⑦校長、教頭会で指導法を話し合う。⑧学校からの月報で教育委員会でも実態を把握する。以上のような対応をしています。今年も2件程ありました。ほぼ100%解決しています。

□その他の質問

* 役場職員の再就職について

* 産業振興（TPP、個別補償）について

* 行政全般について



役場 4 階 結婚相談所
お気軽にお出かけください
相談員の雨宮さん(左)と小林さん(右)

少子化への対策は 結婚の促進と雇用の拡大です



中山 孝 議員

質問：少子化への対策は。

町長：年に35組が結婚し、生まれてくる子どもが100人程度では、現状の小学校も維持できず、町がいびつな状態になると苦慮しています。

まずは、どのように結婚を促進していくか、町をあげて雰囲気を感じ上げ、危機意識を町中で共有することが大切です。

質問：若者が定住しやすいまちづくりの施策は。

町長：結婚できる生活基盤を作るために、雇用の拡大を図ります。福祉施設の施設・改修で40人、開発公社が獲得した指定管理で10人、町に来ることが決まった企業2社で20人、新規就農パッケージで若いカップルの就農に力をそそぎます。マイホーム新築支援も効果を上げていきます。

質問：結婚相談所の充実を図る考えは。

町長：先日行ったプレミアムパーティ（出逢いの会）は、非常に効果がありました。来年度はパーティを中心に予算化します。

□その他の質問

* TPP問題について

* 富士見町開発公社について

10人の議員がただしました

パノラマから賃借料5,000万円をもらうため 町はどれだけの支援をしたか

パノラマは町営スキー場 町の支援はゼロです



エンジェル千代子 議員

質問…住民懇談会の資料で、パノラマから5,000万円入ってくると言っているが、そのために町はどれだけの支援をしているのか。

町長…町の支援はゼロです。パノラマは実質町営、パノラマの15億円の借金は、実質町の借金です。で、10億円を繰り上げ返済しました。これは支援ではありません。

質問…住民懇談会の資料では、パノラマの状況が正しく町民に伝わっていない。町の一般会計と特別

会計・開発公社の関係をわかりやすく示すべきでは。

町長…特別会計などとの関係は、去年の住民懇談会と議会で説明しました。最大の公約である5,000万円の返済について説明したつもりです。

質問…リーディングプロジェクト6項目に「教育」が入っていないが。

町長…リーディングプロジェクトは、改革に重点をおきました。教育と協働のまちづくりはすばらしいことです。しっかり継続していきます。

□その他の質問
*パノラマの植栽について



季節の花が楽しめるパノラマ「山野草公園」

一般会計から開発公社に いくら支出しているのか 公社から5千万円返してもらおう 以外のやり取りはありません



小林 市子 議員

質問…一般会計から開発公社にいくら支出しているのか。

町長…これまでの状態では、年6,000万円以上の仕送りが必要となります。10億円の繰り上げ返済により、今年から5,000万円返ってきます。パノラマをより良くするため、22年度から3年間で1億6,000

00万円を投資する計画のうち、今年度の予算を議決していただきました。会計間の流れはテクニックの問題で、町が5,000万円返してもらおう以外のやり取りはありません。

質問…返済金額を変更する場合の契約書に関する手続きは。

町長…平成15年3月に観光施設等賃借契約を結んでおり、毎年度の賃借料の額を決めるという内容になっています。賃借料は当初2億3,000万円でしたが、一時的に0円にした経過もあり、今回の返済額5,000万円も契約に沿ってやっています。

□その他の質問
*町営地の活用状況について
*男女共同参画について

10人の議員がただしました

〈総務経済常任委員会〉

平成22年10月25日～26日

■北海道石狩郡当別町〈JA北石狩花卉集荷施設〉

当別町の主な産業は農業で、米作は半減したが、麦・野菜・花卉栽培が伸びている。

農家戸数は激減し、深刻な問題となっているが、認定農業者は積極的に若者をターゲットにした結果、激増した(特に法人、共同)とのことである。

花卉栽培は、米の生産調整が始まった昭和45年頃から急増、平成4年に先進的農業生産推進対策事業(国庫補助)で集出荷施設を建設、販売額がかなり伸びた。目標は、より良品質な花卉生産、積極的なPRで業績を向上させること。そのために組合等で、ほ場の畑廻り・技術講習会を開催し、より一層の栽培管理・選別を徹底、また土壌消毒機を導入して、良品質な花(ユリ、デルフィニウム、カーネーションなど、約25品目、600品種)の安定供給を図り、さらなる産地としての信頼性を目指している。

国内でも有数の花卉産地となり、担当者が自信をもって前向きに取り組んでおられる姿勢に感銘を受けた。



■セイコーエプソン(株)千歳事業所



事業所の規模は、用地が6万平方メートル(東京ドームの3倍)、クリーンルーム9千平方メートル、売上高は1兆円弱。従業員約200人のうち20%ほどが諏訪から行っているとのこと。工場は全体的に諏訪南工場と似ているが、300ウェハーの生産ができることが大きく異なる。能率は諏訪南の2.4倍で、ランニングコストの削減ができています。

千歳に事業所を建設したのは、道の企業誘致の助成が大きかったこと、空港に近く利便性がよい、冷却費用が少ない、将来性がある等が理由とのこと。

現在はプロジェクターの製造を主体としており、エプソン独自の3LCD方式で、世界の半分のシェアを誇る。

富士見事業所に関しては、今後もリソースを活用し、研究拠点を中心に継続していきたい、という話でした。パイオニア精神で仕事に打ち込んでおられる様子が、とても力強く印象的でした。

(文責 小林 光)

〈社会文教常任委員会〉

平成22年11月9日～10日

■岩手県紫波郡紫波町〈100年後の子どものための循環型まちづくり〉

紫波町では、平成12年に「紫波の環境を百年後の子どもたちによりよい姿で残し伝えていきます」とした「新世紀未来宣言」を発表し、この精神のもと、平成13年に「循環型まちづくり条例」を制定しました。「資源循環のまちづくり」の柱は三つです。

①自然の恵みを大地にかえす
～有機資源の100%循環活用をめざす

代表的な取り組みは、有機資源循環施設で生ごみと家畜排泄物から堆肥を製造、良質な土づくりを進め、農産物・農業の紫波ブランド化を進めている。

生ごみの分別収集は、当町でもぜひ、導入したい。



有機資源循環施設

②森の恵みを活用し、豊かな森を創る
～森林資源の活用と森林再生をめざす



町産木材で建てられた保育園

公共施設は町産木材を活用している。虹の保育園、紫波中央駅待合施設を見学したが、構造材・仕上材すべて町内産木材である。

③捨てない、燃やさない、埋め立てしない
～焼却ごみゼロをめざす

ごみ減量、CO₂削減の取り組みとして、「紫波エコbeeクーポン券」というユニークな活動をしている。「使用済み植物油を回収した団体」「ペットボトルキャップを回収した団体」などエコ活動に取り組んでいる団体・個人に、その活動に応じたクーポン券を配布し、1ポイント1円で町内の商店で買物ができる。

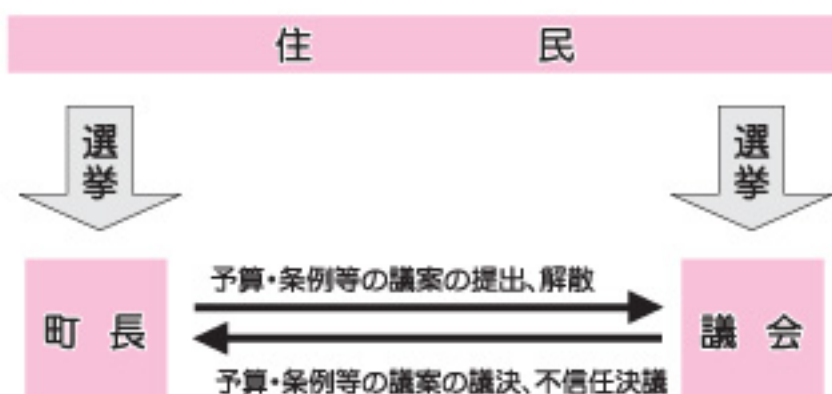
エコ活動の町民への啓発として、また町内商店の活性化として学びたい活動である。

議会の窓

～地方自治の二元代表制～

地方自治体では、首長と議会議員とともに住民が直接選挙で選ぶという制度をとっています。これを『二元代表制』と言います。

二元代表制の特徴は、首長、議員が共に住民を代表することにあります。住民を代表する首長と議会が相互の抑制と均衡によって緊張関係を保ちながら、議会が首長と対等の機関として、その地方自治体の運営の基本方針を決定し、その執行を監視し、また、積極的な政策提案を通して政策形成が図られていくことが二元代表制の本来のあり方です。



全国の地方議会で、分権時代における二元代表制にふさわしい議会のあり方を検討し始めています。すでに議会基本条例を制定した地方議会は、全国で143自治体に及びます。世の中は議会改革の流れが明確に進んでいます。富士見町議会も町民の皆さんに開かれた議会を、また、議会と行政が車の両輪となり10年先、20年先の富士見町を見据えた行政運営を目指していきたいと思ひます。

～表紙の写真から～

富士見町社会福祉協議会に就職して4年目の小林めぐみさん。ふれあいセンターで利用者さんの生活相談を担当しています。

通所されてくる皆さんが“笑顔”で過ごせるようお手伝いする仕事は、自分に合っていて毎日がとても充実しているそうです。

「目標は、“また、ふれあいセンターに行きたい”と言ってもらえるような温かいサービスを提供できるようになること」という小林さんの言葉に、老後の心配を始めた私も、大きな安心をいただきました。

■議会広報編集委員会
 編集委員長 エンジェル千代子
 副委員長 エンジエル千代子
 委員 織田 昭雄
 委員 小名 取 雄
 委員 池 武 一
 委員 夫 一

私たち議員の任期は4月まで。このメンバーでの議会よりも、今回が最後となる。

議会は町民の代表である議員の集まり。その議会は、町民にとって身近なものでなくてはならない。なるべく分かりやすく、読んでいただける議会をよりを目指してきただけだが、その評価はどうかろう……。

新町長となり、役場の雰囲気もがらりと変わった。次々に出される施策を、チェックし歯止めを掛けるのも議会だ。その議会が民意を反映し、時には長い将来への影響も考慮し、判断しなければならぬ。当然、町民の声も重要になってくる。

どんなに優れた意見でも、それが行政に届かなければただの愚痴にしか過ぎない。町民一人ひとりも意思決定する行政にとって怖い存在でなければならぬ。住民の幸福のために存在し、公僕であるべき地方自治体のなすべきこととは何か、住民自治とは何かを、今、問われているのではないだろうか。(エンジェル千代子)

編集後記